令和 3 (2021) 年度

全国歴史資料保存利用機関 連絡協議会

総会

令和3年(2021)6月8日(火)

オンラインにて開催

総会次第

1 開会のことは	
2 主催者あいさつ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 会長 大平 裕己	
3 議長選出	
4 議事	
(1) 令和2年度総会中止に伴う会長専決事項について	p1
(2) 令和 2 (2020) 年度事業報告	p2-5
(3) 令和 2 (2020) 年度決算報告	p6-9
(4) 令和 2 (2020) 年度監査報告	p10
(5) 令和 3 (2021) 年度事業計画	p11-12
(6) 令和 3 (2021) 年度予算	p13-15
5 報告	
(1) 第24期(2021・2022年度)役員等について	p16-17
(2) 会員数の現況等	p18
(3) 地域別協議会活動報告	p19-23
(4) 令和3年度の表彰について	p24-26
6 議長退任	
7 閉会のことば	

4一(1) 令和2年度総会中止に伴う会長専決事項について

昨年6月に開催される予定であった全史料協令和2年度総会は、新型コロナ 感染症対策のため中止となった。このため、本来総会で決定されるはずであった 議事については、会長が役員会の承認を得て処分することとなった。

この場合、本会会則第20条第3項により、「次の総会においてこれを報告し、 その承認を求めなければならない」とされている。

このため、ここに報告し、承認を求める。

なお、議事内容については下記に掲載されているため省略する。

•全史料協HP

http://jsai.jp/soukai/GeneralMeeting2020.pdf

第1回役員会議案書

• 『会報』 108号

「令和2年度 第1回役員会(書面会議)」 「令和2年度 総会議案について」

【参考】全史料協会則

第20条 この会則に定めのないことで、重要事項については、総会の承認を得て決定する。

- 2 会長が総会を招集する暇がないと認めるときは、会長はその決定すべき事項を役員会の承認を得て処分することができる。
- 3 前項の規定による処置については、会長は、次の総会においてこれを報告し、その承認を求めなければならない。

4-(2)令和2(2020)年度事業報告

会長事務局

項目	内容
総会・役員会の開催	 (1) 総会 令和2年6月11日(木)神奈川大学 ※新型コロナウィルス感染拡大予防のため中止 (2) 役員会 第1回 令和2年5月22日(金) 寒川町町民センター ※新型コロナウィルス感染拡大予防のため書面会議で実施 第2回 令和3年2月16日(火) Web会議
会員に係る事務 (事務支局)	(1) 会員入退会事務(2) 会員名簿管理(3) 会員会費徴収事務
その他	(1) 次期役員体制、令和3年度・4年度全国大会開催地の調整 (2) アーカイブズ関係機関協議会へ出席 (3) 『会報』の編集協力

副会長事務局

項目	内容
	(1) 国際会議・セミナー等の会員への広報
国際交流	(2) 国際団体への負担金送付 (ICA会費、EASTICA会費)
	(3) その他国際交流事務
その他	会長事務局を補佐して、全史料協の振興に努める。

大会 · 研修委員会

項目	内容
委員会の開催	第1回 令和2年4月28日(火) 秋田県公文書館 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 第2回 令和2年7月 宮城県仙台市(予定) →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 第3回 令和2年11月5日(木) 秋田県公文書館(第1回) 第4回 令和3年2月5日(金) WEB会議 (第2回)
全国大会の企画・ 準備・開催 (第46回仙台大会)	仙台大会中止 (1)大会開催にかかる情報収集、委員・会長事務局等との調整・検討 (2)次期開催予定地(高知県立公文書館)との調整
その他	全史料協会報 (No. 108)への活動報告寄稿

調查·研究委員会

一	
項目	
	第1回 令和2年5月20日(水)
	→新型コロナウィルス感染症対策の指針に則りWEB
	上でのメールのやり取りによる会議とした。
	第2回 令和2年8月20日(木)徳島県立文書館
委員会の開催	第3回 令和2年12月10日(木)香川県公文書館
	第4回 令和3年3月12日(金)
	→新型コロナウィルス感染症対策の指針に則りWEB
	上でのメールのやり取りによる会議とした。
	(1)日 時 11月19日(木)
	(2)場 所 鳥取市民会館(鳥取県鳥取市)
	(3)内 容 「公文書機能を考える 鳥取からの発信」
	・講演 高木 秀彰「わが町にアーカイブズができたな
	် ၂
公文書館機能普及	 ・報告 山田 明 「琴浦町における公文書管理と評価選
セミナーin 鳥取の開	別の取組・課題」
催	 田淵香緒里「鳥取県における県と市町村が連携し
	 た歴史公文書等保存活用の取組」
	・パネルディスカッション/質疑応答
	 (4)参加者 53名
	1 新型コロナウィルス感染症対策に関する機関会員へのアンケ
	− ト
	(1)日 程 送付5月29日 返送締め切り6月23日
	(2)内 容 140機関に送付、106機関から回答あり。
	(3)結 果 全史料協ホームページに掲載
	2 四国基礎自治体の公文書保存に関するアンケート
	(1)日 程 送付6月16日 返送締め切り7月10日
	(2)内 容 95 市町村 190 機関に送付、116 機関から回答あり
調査事業	 (3)結 果 全史料協会誌に掲載予定
	3 四国基礎自治体の公文書保存に関する実地調査
	 ①徳島県神山町・徳島市の調査
	(1)日程8月21日(金)
	 (2)内 容 徳島県神山町郷土館および徳島市史編纂室の調査
	②高松市の調査
	(1)日程 12月10日(木)
	 (2)内 容 高松市公文書館の調査
L	ı

後援承認	以下の催事について後援を決定し、会長名で回答。 1 アート・ドキュメンテーション学会主催「アート・ドキュメンテーション学会 2020 年次大会」(5月12日承認、6月27~28日開催) 2 情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん 2020)」(8月12日承認、12月12~13日開催) 3 日歴協 史料保存利用特別委員会主催「史料保存利用問題シンポジウム」(8月27日承認、12月19日開催) 4 山口県文書館主催「第11回歴史的公文書等保存活用のための連絡会議」(9月9日承認、10月30日開催) 5 デジタルアーカイブ学会「第6回デジタルアーカイブ学会研究大会」(2月8日承認、4月23~24日開催予定)
災害関係	(1) 災害時の機関会員への安否確認等 1 千葉県東方沖地震(6月下旬 震度5弱) 6月25日、千葉県文書館(非会員)等に電話で無事を確認した。 2 九州豪雨(7月上旬) 7月9日、熊本市総務局総務課等に電話で無事を確認した。 3 長野・岐阜豪雨(7月上旬) 7月10日、長野県立歴史館等に電話で無事を確認した。 4 福井県嶺北地震(9月上旬、震度5弱) 9月4日、福井県文書館に電話で被害情報のないことを確認した。 5 令和2年台風14号(10月上旬、台風14号) 10月13日、御蔵島村役場(非会員)等に電話で無事を確認した。 6 茨城県沖地震(11月下旬、震度5弱) 11月23日、茨城県立歴史館に電話で無事を確認した。 7 岩手県沖地震地震(12月上旬、震度5弱) 12月15日、八戸市立図書館市史編さん室等に電話で無事を確認した。 8 伊豆大島近海地震(12月下旬、震度5弱) 12月22日利島村役場(非会員)に電話で無事を確認した。 9 青森県東方沖地震(12月下旬、震度5弱) 12月22日、岩手県総務部総務室(非会員)に電話で無事を確認した。 10 和歌山県北部地震(3月中旬、震度5弱) 3月17日 和歌山県立文書館に電話で無事を確認した。

広報 · 広聴委員会

項目	内容				
	第1回 令和2年5月15日(金) 広島県大阪事務所				
	⇒中止(新型コロナ)				
工	第2回 令和2年8月7日(金) 広島県大阪事務所				
委員会の開催	⇒中止(新型コロナ)				
	第3回 令和2年10月下旬 宮城県仙台市				
	⇒中止(全国大会中止)				
	(1)会誌の編集と発行				
	『記録と史料』第31号(令和3年3月発行)				
会誌と会報の発行	(2)会報の編集と発行				
	『会報』第108号(令和2年9月発行)				
	『会報』第109号(令和3年3月発行、普及セミナー特集)				
	各委員会や会員,関連機関等から寄せられた情報を随時掲載				
ホームページの維持管理	した。				
	(ホームページ更新回数:60 回)				
	(1)刊行物販売と在庫管理				
Z 0 4h	(会誌64冊を販売)				
その他	(2)会誌『記録と史料』・会報のホームページ掲載				
	(3)J-STAGEへの会誌第30号の登載(令和3年3月)				

4-(3)令和2(2020)年度決算報告

I 一般会計

_1 収入の部 (単位:円)

科目	予算額	収入額	増減 (△)	備考
会 費	6,636,000	6,420,000	△ 216,000	
機関会員	4,884,000	4,920,000	36,000	139機関
個人会員	1,752,000	1,500,000	△ 252,000	個人会員6,000円×199人、学生会員3,000円×2名、 過年度未納分6,000円×14名、学生会員3,000円×1名
寄附金収入	0	0	0	
諸収入	480,020	133,107	△ 346,913	
刊行物売上	80,000	83,073	3,073	会誌64冊(広報·広聴委員会)
広告料	200,000	50,000	△ 150,000	会誌30号分(広報・広聴委員会)
大会配布資料代	200,000	0	△ 200,000	大会中止のため
雑収入	20	34	14	預金利子(会長11円、大会・研修13円、調査・研究6円、広報・ 広聴4円)
繰入金	193,000	0	△ 193,000	支出減のため繰入金なし
繰越金	2,995,653	2,995,653	0	
合 計	10,304,673	9,548,760	△ 755,913	

2 支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	流用後予算額	支出額	残額	備考
委員会費	7,038,000	7,038,000	2,296,565	4,741,435	
大会・研修委員会費	3,866,000	3,866,000	713,517	3,152,483	
運営費	2,306,000	2,306,000	390,187	1,915,813	
会議費	2,051,000	2,051,000	379,925	1,671,075	
食糧費	5,000	5,000	1,191	3,809	委員会飲料水
使用料及び賃借料	20,000	20,000	0	20,000	
旅費	2,026,000	2,026,000	378,734	1,647,266	第1回(296,674円)、令和3年度大会の 打合せ旅費(長谷川委員82,060円)
事務局事務費	255,000	255,000	10,262	244,738	
消耗品費	40,000	30,000	0	30,000	10千円流用減(事務局事務費通信運搬費へ)
通信運搬費	5,000	15,000	10,262	4,738	10千円流用増(事務局事務費消耗品費から) 通知郵送料(672円)、用品郵送料(8,600円)、振込手数料(990円)
旅費	210,000	210,000	0	210,000	ズームで実施
事業費	1,560,000	1,560,000	323,330	1,236,670	
大会準備費	1,560,000	1,560,000	323,330	1,236,670	
賃金	50,000	50,000	0	50,000	
報償費	200,000	200,000	0	200,000	
消耗品費	80,000	80,000	0	80,000	
食糧費	30,000	30,000	0	30,000	
印刷製本費	300,000	300,000	0	300,000	
通信運搬費	100,000	100,000	990	99,010	振込手数料
使用料及び賃借料	700,000	700,000	322,340	377,660	令和3年度大会の会場利用料金(大ホール、小ホール 11月17日~19日)
交付金	100,000	100,000	0	100,000	

調査・研究委員会費	1,641,000	1,641,000	577,668	1,063,332	
運営費	699,000	699,000	152,180	546,820	
会議費	687,000	687,000	151,300	535,700	
旅費	673,000	673,000	151,300	521,700	第2回委員会,第3回委員会,事務局引き
消耗品費	2,000	2,000	0	2,000	
食糧費	2,000	2,000	0	2,000	
使用料及び貸借料	10,000	10,000	0	10,000	
事務局事務費	12,000	12,000	880	11,120	
消耗品費	1,000	1,000	0	1,000	
通信運搬費	10,000	10,000	880	9,120	決算金振込料
印刷製本費	1,000	1,000	0	1,000	
事業費	942,000	942,000	425,488	516,512	
研究・研修費	741,000	741,000	317,717	423,283	
旅費	622,000	622,000	233,118	388,882	セミナー会場事前調査, セミナー旅
報償費	50,000	10,000	0	10,000	
消耗品費	20,000	20,000	9,119	10,881	封筒印刷
通信運搬費	32,000	32,000	31,270	730	アンケート郵送2回,振込手数料(: 関係)
使用料及び貸借料	10,000	50,000	37,610		セミナー会場費
食糧費	7,000	7,000	6,600	400	セミナー昼食弁当代
普及活動費	201,000	201,000	107,771	93,229	
印刷製本費	100,000	100,000	67,739	•	チラシ印刷、セミナーテープ反訳料
通信運搬費	100,000	100,000	40,032		チラシ送付,振込手数料 (テープ反 委員旅費)等
旅費	1,000	1,000	0	1,000	
は報・広聴委員会費	1,531,000	1,531,000	1,005,380	525,620	
運営費	623,000	553,000	36,050	516,950	
会議費	502,000	432,000	0	432,000	
旅費	500,000	430,000	0	430,000	会議(3回)はすべて中止
通信運搬費	2,000	2,000	0	2,000	
事務局事務費	121,000	121,000	36,050	84,950	
旅費	40,000	40,000	0	40,000	次期事務局の来県予定なし
消耗品費	10,000	10,000	0	10,000	
通信運搬費	70,000	69,000	34,730	34,270	引継資料等運送費
手数料	1,000	2,000	1,320	680	振込手数料
事業費	905,000	975,000	969,330	5,670	
普及活動費	905,000	975,000	969,330	5,670	
印刷製本費	650,000	720,000	716,100	3,900	会報・会誌印刷費
通信運搬費	250,000	250,000	248,230	1,770	会報・会誌発送費等 レンタルサーバ・JPドメイン使用 インターネット接続料
報償費	5,000	5,000	5,000	0	英訳者謝礼
予備費	3,000	3,000	0	3,000	
長事務局費	2,997,000	2,997,000	1,205,742	1,791,258	
事業運営費	2,997,000	2,997,000	1,205,742	1,791,258	
運営費	2,997,000	2,997,000	1,205,742	1,791,258	
会議費	1,557,000	1,557,000	34,860	1,522,140	
旅費	1,481,000	1,481,000	0	1.481.000	総会中止のため

	報償費	20,000	20,000	0	20,000	記念講演会中止のため
	消耗品費	22,000	17,000	0	17,000	
	食糧費	4,000	4,000	0	4,000	
	通信運搬費	30,000	35,000	34,860	140	郵送料(総会中止)、会議費消耗品費から5,000円流用
	事務局事務費	1,440,000	1,440,000	1,170,882	269,118	
	旅費	310,000	95,000	1,530	93,470	引き継ぎ旅費
	消耗品費	11,000	11,000	3,513	7,487	
	印刷製本費	30,000	30,000	836	29,164	
	通信運搬費	180,000	180,000	153,710	26,290	携帯使用料、郵送料(大会中止、アンケート)
	委託料	560,000	611,000	610,700	300	事務支局委託料、普及セミナー動画撮影・編集料、事務局事務費旅費から 51,000円流用
	賃金	206,000	206,000	112,536	93,464	高崎倉庫保管文書整理料
	使用料及び賃借料	143,000	307,000	288,057	18,943	高崎倉庫保管料、高崎倉庫資料集配料、 事務局事務費旅費から164,000円流用
_	長事務局費	260,000	260,000	106,267	153,733	
\vdash	業運営費	260,000	260,000	106,267	153,733	
Į.	軍営費	97,000	97,000	0	97,000	
	事務局事務費	97,000	97,000	0	97,000	
	旅費	60,000	60,000	0	60,000	
	大会参加費	20,000	20,000	0	20,000	
	通信運搬費	5,000	5,000	0	5,000	
	役務費	10,000	10,000	0	10,000	
	消耗品費	2,000	2,000	0	2,000	
픸	事業費	163,000	163,000	106,267	56,733	
	団体等関係費	163,000	163,000	106,267	56,733	
	旅費	60,000	54,000	0	54,000	
	通信運搬費	13,000	19,000	19,000	0	ICA、EASTICA会費送金手数料、事業費 旅費から6,000円流用
	負担金	90,000	90,000	87,267	2,733	ICA:44,971円、EASTICA:42,296円
予備	 費	9,673	9,673	0	9,673	
予付	備費	9,673	9,673	0	9,673	
	合 計	10,304,673	10,304,673	3,608,574	6,696,099	

3 収支決算 (単位:円)

1-1-1-17	総収入額	総支出額	残額	備考
収支額 (実質収支額)	9,548,760	3,608,574	5,940,186	次年度へ繰越
.5.55.375.424	(6,553,107)	(3,608,574)	2,944,533	

4 預り金 (単位:円)

令和3年度会費ほか	個人会員 2名	12,000	
振込人不明分		13,000	
計		25,000	

5 通帳残高 (単位:円)

区分		内訳額	残額	備考
会長事務局	普通預金口座(一般)	988,094	1,416,922	
	郵便振替口座	428,828	1,410,922	
副会長事務局			153,733	
大会·研修委員会			2,802,496	
調査·研究委員会			1,063,338	
広報·広聴委員会			528,697	
通帳残高計			5,965,186	
収支決算額と通帳残高計との差額			25,000	預り金

[参考] 郵便切手

(単位:円)

区分		残高	備考
	大会·研修委員会	0	
	調査·研究委員会	0	
郵便切手残高	広報·広聴委員会	0	
	会長事務局	1,252	
	副会長事務局	0	
郵便切手残高計		1,252	次年度へ繰越

Ⅱ 特別会計

(単位:円)

						(- 1 3 /	
令和元度末	令和元度末 令和2年度変動額					度末 病要	
積立金積立額		取崩額	預金利子	計	積立額	桐安	
2,279,176	0	0	23	23	2,279,199		

4-(4) 令和2 (2020) 年度監査報告

監査報告書

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会則第 10 条第 4 項の規定に基づき、事業報告の内容及び会計帳簿など会計書類を審査した結果、令和 2 年度の会務及び会計は適正に執行されていることを認めます。

令和3年5月13日

監事 武蔵野ふるさと歴史館担当課長



4-(5)令和3(2021)年度事業計画

令和3年度事業計画(案)

会長事務局

項目	内容				
WA 4150 0 18 18	(1)総会 令和3年6月 オンライン方式による開催(予定) (2)役員会				
総会・役員会の開催	第1回 令和3年5月 オンライン方式による開催 第2回 令和4年2月 東京都(予定)				
会員に係る事務	(1) 会員入退会事務 (2) 会員名簿管理 (3) 会員会費徴収事務				
その他	(1) 次期役員体制、令和4年度・5年度全国大会開催地の調整 (2) アーカイブズ関係機関協議会へ出席 (3) 『会報』の編集協力				

副会長事務局

項目	内容
国際交流	(1) 国際会議・セミナー等の会員への広報(2) 国際団体への負担金送付(ICA会費、EASTICA会費)(3) その他国際交流事務
その他	会長事務局を補佐して、全史料協の振興に努める。

大会・研修委員会

項目	内容
	第1回 令和3年5月10日(月) Web会議
	第2回 令和3年7月 高知県高知市(予定)
委員会の開催	第3回 令和3年11月17日(水)
	高知市中央公民館会議室(予定)
	第4回 令和4年2月 山口県文書館(予定)
	(1)開催日 令和3年11月18日(木)~19日(金)
全国大会の企画・	(2)会場 高知市文化プラザ(予定)
準備・開催	(3) 大会日程・テーマ・講師報告者等の検討
(第47回高知大会)	(4) 大会開催要項の作成、「大会案内」「大会冊子」の編集
	(5) 大会の開催
その他	広報・広聴委員会への協力(会報「大会特集号」等)

調查·研究委員会

項目	内容
委員会の開催	第1回 令和3年5月 鳥取県立公文書館(予定) 第2回 令和3年8月 鳥取県立公文書館(予定) 第3回 令和3年11月 高知県高知市(予定) 第4回 令和4年2月 鳥取県立公文書館(予定)
委員会の事業	(1)公文書館機能普及セミナーの開催(予定)(2)調査・研究事業(3)大規模災害発生時における情報窓口・連絡調整(4)後援承認

広報 · 広聴委員会

項目	内容			
委員会の開催	第1回 令和3年5月 オンライン開催(予定) 第2回 令和3年8月 神奈川県(予定) 第3回 令和3年11月頃 全国大会会場(予定)			
会誌と会報の発行	(1)会誌の編集と発行 『記録と資料』32号(令和4年3月予定) (2)会報の編集と発行 『会報』第110号(令和3年9月予定) 『会報』第111号(令和4年3月予定)			
ホームページの 維持管理	各委員会や会員、関連機関等から寄せられた情報を随時掲載する。			
その他	(1) 刊行物の販売と在庫管理 (2) 会誌『記録と史料』・会報のホームページ掲載 (3) J-STAGEへの会誌第31号の登載(令和4年3月予定)			

4-(6)令和3(2021)年度予算(案)

I 一般会計

1 収入の部 (単位:円)

科 目	令和2年度	令和3年度	比較増減(△)	備考
会 費	6,636,000	6,434,000	△ 202,000	
機関会員	4,884,000	4,916,000	32,000	139機関
個人会員	1,752,000	1,518,000	△ 234,000	254名(2名学生) 6,000×252+3,000×2
諸収入	480,020	370,020	△ 110,000	
刊行物売上	80,000	80,000	0	会誌等
広告料	200,000	140,000	△ 60,000	大会協賛金、広告、会誌広告
大会配布資料代	200,000	150,000	△ 50,000	
雑収入	20	20	0	預金利子
繰入金	193,000	0	△ 193,000	
繰越金	2,995,653	5,940,186	2,944,533	
合 計	10,304,673	12,744,206	2,439,533	

2 支出の部 (単位:円)

科 目	令和2年度	令和3年度	比較増減(△)	備考
委員会費	7,038,000	7,548,800	510,800	
大会・研修委員会費	3,866,000	4,304,800	438,800	
運営費	2,306,000	2,459,800	153,800	
会議費	2,051,000	2,115,000	64,000	
食糧費	5,000	5,000	0	会議時飲料水代
使用料及び賃借料	20,000	20,000	0	会議室代
旅費	2,026,000	2,090,000	64,000	
事務局事務費	255,000	344,800	89,800	
賃金	0	199,800	199,800	
消耗品費	40,000	40,000	0	事務物品購入費(大会案内用封筒、ラベル シール、インク、コピー用紙等)
通信運搬費	5,000	5,000	0	郵送費
旅費	210,000	100,000	△ 110,000	各種事務処理旅費
事業費	1,560,000	1,845,000	285,000	
大会準備費	1,560,000	1,845,000	285,000	
賃金	50,000	25,000	△ 25,000	大会スタッフアルバイト代
報償費	200,000	150,000		講師・報告者旅費
消耗品費	80,000	200,000	120,000	感染症対策費(消毒剤等)、リモート用PC 等購入費
食糧費	30,000	20,000		講師・報告者弁当代、飲料水代
印刷製本費	300,000	300,000	0	大会案内印刷、大会冊子製作費等
通信運搬費	100,000	150,000	50,000	大会案内·大会冊子発送、振込手数料等、モ バイルルーターレンタル料
使用料及び賃借料	700,000	0	△ 700,000	
委託費	0	900,000	900,000	リモート技術サポート
交付金	100,000	100,000	0	予備費として確保

查•	研究委員会費	1,641,000	1,618,000	△ 23,000	
運営	費	699,000	676,000	Δ 23,000	
숲	:議費	687,000	664,000	Δ 23,000	
	旅費	673,000	650,000	△ 23,000	委員会3回
	消耗品費	2,000	2,000	0	
	食糧費	2,000	2,000	0	お茶
	使用料および貸借料	10,000	10,000	0	会場借り上げ
事	事務局事務費 	12,000	12,000	0	
	消耗品費	1,000	1,000	0	
	通信運搬費	10,000	10,000	0	
	印刷製本費	1,000	1,000	0	
事業	養	942,000	942,000	0	
矽	研究・研修費	741,000	741,000	0	
	旅費	622,000	622,000	0	セミナー(委員・講師)旅費,調査事業
	報償費	50,000	50,000	0	セミナー講師報償
	消耗品費	20,000	20,000	0	調査事業消耗品
	通信運搬費	32,000	32,000	0	調査事業通信運搬
	使用料および貸借料	10,000	10,000	0	セミナー会場
	食料費	7,000	7,000	0	セミナー昼食等
힅	· 普及活動費	201,000	201,000	0	
	印刷製本費	100,000	100,000	0	セミナーチラシ,その他
	通信運搬費	100,000	100,000	0	セミナーチラシ送付その他
	旅費	1,000	1,000	0	
報	· 広聴委員会費	1,531,000	1,626,000	95,000	
運	営費	623,000	533,000	△ 90,000	
4	会議費	502,000	502,000	0	
	旅費	500,000	500,000	0	委員会旅費3回分
	通信運搬費	2,000	2,000	0	郵送料等
1	事務局事務費	121,000	31,000	△ 90,000	
	旅費	40,000	0	△ 40,000	
	消耗品費	10,000	30,000	20,000	 封筒作成費
	通信運搬費	70,000	0	△ 70,000	
	手数料	1,000	1,000	0	├────────────────────────────── 振込手数料
事美	業費	905,000	1,093,000	188,000	
Ť	普及活動費	905,000	1,093,000	188,000	
	印刷製本費	650,000	800,000	150,000	
	消耗品費	0	20,000	20,000	パソコンソフト
	通信運搬費	250,000	268,000	18,000	会報・会誌発送費等、レンタルサーバ Pドメイン使用料
	報償費	5,000	5,000	0	英訳者謝礼
 	· i費	3,000	0	△ 3,000	

会長事務	活局費	2,997,000	3,395,000	398,000	
事業運	営費	2,997,000	3,395,000	398,000	
運営	費	2,997,000	3,395,000	398,000	
会	€議費	1,557,000	1,684,000	127,000	
	旅費	1,481,000	1,600,000	119,000	役員会、総会、全国大会旅費
	報償費	20,000	35,000	15,000	講師謝礼、表彰関係
	消耗品費	22,000	15,000	△ 7,000	コピー用紙
	食糧費	4,000	4,000	0	飲料水代
	通信運搬費	30,000	30,000	0	振込手数料
事	務局事務費	1,440,000	1,711,000	271,000	
	旅費	310,000	350,000	40,000	全国大会、全国大会事前打合せ、普及セミ ナー旅費
	消耗品費	11,000	10,000	△ 1,000	事務用品
	備品購入費	0	130,000	130,000	事務・Zoom用PC
	印刷製本費	30,000	30,000		封筒印刷代
	通信運搬費	180,000	245,000	65,000	携帯使用料、郵便代、振込手数料、イン ターネット接続料
	委託料	560,000	560,000		事務支局委託料
	賃金	206,000	206,000	0	事務補助、総会スタッフアルバイト代
	使用料及び賃借料	143,000	180,000	37,000	高崎倉庫保管料、Zoom契約料
副会長事	務局費	260,000	243,000	△ 17,000	
事業運	営費	260,000	243,000	△ 17,000	
運営	費	97,000	97,000	0	
	務局事務費	97,000	97,000	0	
	旅費	60,000	60,000	0	
	大会参加費	20,000	20,000	0	
	通信運搬費	5,000	5,000	0	
	役務費	10,000	10,000	0	
	消耗品費	2,000	2,000	0	
事業	費	163,000	146,000	△ 17,000	
	日体等関係費 	163,000	146,000	△ 17,000	
	旅費	60,000	60,000	0	
	通信運搬費	13,000	19,000	6,000	
	負担金	90,000	67,000	△ 23,000	ICA 年会費のみ、EASTICA は隔年納付の未 納年
繰出金		0	1,000,000	1,000,000	
繰出金	<u> </u>	0	1,000,000	1,000,000	
予備費		9,673	557,406	547,733	
予備費	1	9,673	557,406	547,733	
	合 計	10,304,673	12,744,206	2,439,533	

Ⅱ 特別会計

(単位:円)

令和2年度末		令和3年度変	動見込み額		令和3年度末	松市
積立額	積立額	取崩額	預金利子	計	積立額	摘要
2,279,199	1,000,000	0	25	1,000,025	3,279,224	

5-(1) 第24期(2021・2022年度)役員等について

役員

職名	氏 名	所属	区分	備考
会 長	大平 裕己	東京都公文書館	機関	
副会長	宮田克成	三豊市文書館	機関	
	早川和宏	東洋大学	個人	
	吹屋哲夫	山口県文書館	機関	大会・研修委員長
	柳楽 利明	鳥取県立公文書館	機関	調査・研究委員長
	今部 一良	神奈川県立公文書館	機関	広報・広聴委員長
理事	山田 恵	埼玉県立文書館	機関	関 東 部 会 長
	石尾 和仁	徳島県立文書館	機関	近畿部会長
	定兼 学	岡山県立記録資料館	個人	
	福嶋 紀子	松本大学	個人	
監事	栗原 一浩	武蔵野ふるさと歴史館	機関	

大会 · 研修委員会

役 職	氏 名	機関名
委 員 長	吹屋 哲夫	山口県文書館
副委員長	長谷川 伸	新潟市文化スポーツ部歴史文化課
委員	青木 弥保	安曇野市教育委員会教育部文化課
委員	新井 浩文	埼玉県立文書館
委員	大月 英雄	滋賀県立公文書館
委員	加藤 諭	東北大学学術資源研究公開センター史料館
委員	三宮 久美	高知県立公文書館
委員	藤隆宏	和歌山県立文書館
委員	蓮沼 素子	大仙市アーカイブズ
事務局	山﨑 一郎	山口県文書館
事務局	吉田 真夫	山口県文書館
事務局	山本 明史	山口県文書館

調査・研究委員会

役 職	氏 名	機 関 名
委 員 長	柳楽 利明	鳥取県立公文書館
委員	加藤 聖文	国文学研究資料館
委 員	清原 和之	島根大学
委 員	嶋田 典人	香川県立文書館
委 員	林 貴史	
委員	山本 太郎	倉敷市総務局総務部 副参事兼総務課歴史 資料整備室長
事務局	田貝 隆	鳥取県立公文書館
事 務 局	中村 誠司	鳥取県立公文書館
事 務 局	竹内 梨乃	鳥取県立公文書館

広報・広聴委員会

役 職	氏 名	機 関 名
委員長	今部 一良	神奈川県立公文書館
委員	宇野 淳子	立教大学共生社会研究センター
委 員	鎌田和栄	河内長野市立図書館
委 員	久保庭 萌	大磯町郷土資料館
委 員	坂口 貴弘	創価大学
委 員	富田 健司	寒川文書館
委 員	藤吉 圭二	追手門学院大学
委員	吉原 大志	歴史資料ネットワーク
委員 (事務局)	関根 豊	神奈川県立公文書館
事務局	内藤 潤	神奈川県立公文書館
事 務 局	近藤 絢音	神奈川県立公文書館

5-(2)会員数の現況等

会員数の現況

区 分	令和 2.3.31	令和 3.3.31	備考
機関会員	136	139	入会:5 退会:2
個人会員	288	254	入会: 4 退会: 38
合 計	424	393	

機関会員入会···高知県立公文書館、(株)足柄製作所、MIHO MUSEUM、

延岡市教育委員会文化課市史編さん係、追手門学院大学学院志研究室

機関会員退会・・・板橋区公文書館、古河市三和資料館

個人会員の退会者のうち24人は、2年以上会費滞納のため除籍

令和2年度会費納入状況報告

令和3年3月31日現在

区 分	納入件数	未納件数	備考
機関会員	139	0	
個人会員	201	32	
合 計	340	32	

^{*}会費納入義務の基準日は総会時であるが、令和2年度は総会を中止したため、第1回役員会時とする。そのため、この表の母数と、上の表の会員数とは一致しない。

5-(3)地域別協議会活動報告

関東部会 令和2年度の活動状況等

- 1 総会の開催
 - (1)日 時 令和2年5月27日(水)
 - (2) 開催方法 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として書面決議にて実施
 - (3) 内 容 議案:令和元年度事業・決算報告、令和2年度事業計画・予算案、関東部会会 則の一部改正案

報告:令和2年度役員•運営委員•事務局長

- 2 役員会の開催
 - ①令和2年度第1回役員会
 - (1)日 時 令和2年5月27日(水)
 - (2) 開催方法 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として書面決議にて実施
 - (3) 内 容 議案:令和元年度事業・決算報告、令和2年度事業計画・予算案、

会則の一部改正について

報告:令和2年度役員•運営委員•事務局長

- ②令和2年度第2回役員会
 - (1)日 時 令和3年3月19日(水)
 - (2) 開催方法 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として書面決議にて実施
 - (3) 内 容 議案:令和2年度事業・決算報告、令和3年度事業計画・予算案

報告:令和3年度役員•運営委員•事務局長

その他:関東部会会長及び事務局等の選出に関する内規の一部改正について

- 3 運営委員会の開催
 - ①令和2年度第1回運営委員会
 - (1)日 時 令和2年9月25日(金)
 - (2) 開催方法 オンラインツール (Zoom) を活用したリモート会議
 - (3)内 容 令和2年度各種事業の準備状況について、
 オンライン環境状況調査結果について、

事務局運営に関するアンケート結果について、令和3年度事業計画について

- ②令和2年度第2回運営委員会
 - (1)日 時 令和2年12月24日(木)
 - (2) 開催方法 オンラインツール (Zoom) を活用したリモート会議
 - (3) 内 容 令和2年度事業の実施・準備状況について 令和3年度事業計画について、令和3~4年度の体制について

③令和2年度第3回運営委員会

- (1)日 時 令和3年2月26日(金)
- (2) 開催方法 オンラインツール (Zoom) を活用したリモート会議
- (3)内 容 令和3年度の事業計画について

4 定例研究会の開催

定例会	開催日	テーマ等	
総会記念 講演会		新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として中止	
第 306 回	令和2年 12月10日(木)	テーマ MLAの所管・設置形態を考える	
第 307 回	令和3年 3月18日(木)	テーマ 例規から見る 47 都道府県の文書管理の現状と課題 講 話:富田三紗子氏(関東部会個人会員) コメント:早川 和宏氏(東洋大学) 吉川真理子氏(近畿部会事務局員	

5 会報等の発行

『アーキビスト』(年2回発行)第94号(令和2年9月)、第95号(令和3年3月)

6 会員数(令和3年4月1日現在)

機関会員50機関 個人会員103名 計153

近畿部会 令和2年度の活動状況等

- 1 総会(中止)
 - ※ 新型コロナウィルス感染症拡大予防のため、令和2年度総会の開催を中止し、以下をもって 総会開催の代替措置とした。
 - (1)役員の書面会議(メール会議)を実施、同書面会議にて、令和元年度事業・決算・監査報告、 令和2年度運営委員・事業計画・予算案を審議、承認。
 - (2)書面会議での役員会での承認を、総会の仮承認を得たものとして位置づけ、会員には役員会で承認を得た議案内容をメールないし郵便にて通知した。
 - (3)以上については、令和3年度総会にて事後承認を受ける。

【参考1:開催予定日時・場所】

- (1)日 時 令和2年5月23日(土)
- (2)場 所 尼崎市総合文化センター7階 第2会議室(尼崎市昭和南通2-7-16)

【参考2:監査について】

- ※ 新型コロナウィルス感染症拡大予防のため、対面での監査を実施しなかった。臨時的な対応 として、以下のとおり書面とデジタルデータを併用した監査で実施した。
- (1) 関連書類一式のデジタルデータを事務局で作成、大容量データ転送サービスを使用して監事 2名にパスワードを設定したデータを送付。
- (2) 監事は監査報告書原本を事務局へ郵送。

2 役員会の開催

- ①令和2年度第1回役員会
 - (1)期間 令和2年5月9日(土)~5月20日 ※書面会議(メール会議)
 - (2) 内 容 令和元年度事業・決算・監査報告、令和2年度運営委員・事業計画・予算案を審議、 承認
- ②令和2年度第2回役員会
- (1) 日 時 令和3年5月26日 14:00~15:00 (予定) ※Zoomによるオンライン開催
- (2) 内 容 令和2年度事業・決算・監査報告、令和3年度運営委員・事業計画・予算案を審議
- 3 運営委員会の開催
 - ①令和2年度第1回運営委員会
 - (1)日 時 令和3年4月9日 13:30~15:30※Zoomによるオンライン開催
 - (2) 内 容 令和2年度事業の総括、令和3年度例会企画案について協議

4 例会の開催

例 会	開催日	テーマ等
第回	令和2年 5月23日(土)	講 演 (歴史的公文書の「活用」について/政策立案過程における歴史的公文書による検証の必要性) 講 師 松岡資明氏 会 場 尼崎市総合文化センター7階 第2会議室 ※ 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防のため中止
第回	令和2年 7月17日(金)	テーマ 堺市における地域史料の保存と利用 (見学)「堺市立中央図書館の所蔵資料の閲覧」(仮) 紹介:春木優子氏(堺市立中央図書館) 報告1 「堺市の地域資料について」(仮) 竹田芳則氏(堺市立北図書館) 報告2 「地域資料の利用について」(仮) 岡田光代氏(大阪府立大学経済学部准教授) 報告3 「所蔵古文書の調査について」(仮) 大久保雅央氏 会場 堺市立中央図書館 ※ 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防のため中止 →令和3年度第157回例会として開催予定
第回	令和2年 9月12日(土)	テーマ "もう一つの地域資料"教典・聖教を活かす 一調査・保全の意義と可能性— 基調講演 横内裕人氏(京都府立大学文学部教授) 事例報告 1 坂本亮太氏(和歌山県立博物館学芸員) 事例報告 2 三宅徹誠氏(元興寺文化財研究所研究員) 会 場 京都府立京都学・歴彩館 ※ 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防のため中止 →令和 3 年度第 158 回例会として開催予定
第回	令和 2 年 1 1 月	テーマ いま、地方公文書館に求められるもの -滋賀県の事例から考える— 講 師 未定 会 場 滋賀県庁新館7階大会議室(仮)※滋賀県と共催予定 ※ 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防のため中止
第 155 回	令和3年 3月18日(木) 13:30~16:00	※関東部会と合同開催(関東部会第 307 回定例研究会) テーマ 例規から見る 47都道府県の 文書管理の現状と課題 方 法 Zoom を利用したオンライン開催 報 告 者 富田三紗子氏(全史料協関東部会個人会員) コメント1 早川和宏氏(東洋大学) コメント2 吉川真理子氏(あまがさきアーカイブズ)
第回	令和3年 3月上旬	テーマ 近現代の紙資料に関するワークショップ 講 師 大林賢太郎氏(京都造形芸術大学教授) 会 場 京都造形芸術大学 ※ 新型コロナウィルス感染症の感染拡大予防のため中止

5 会報等の発行

- (1) 会報『Network-D』をデジタル版(全史料協ホームページ内)で発行 (総会・例会の報告、参加記等を掲載。ONLINE ISSN 2433-3204)72号(2021.5月発行予定)
- (2) 月報「Monthly News」の発行(総会・例会等の案内)150号(2021.3) 151号(2021.5月中発行予定)
- 6 会員数(令和3年3月31日現在)

機関会員 1 6 機関 (+1) 追手門大学学院志研究室 個人会員 5 8 名 (-10、うち除名が-7) 計 7 4 (-9) 通信会員 9 名 (メールで催し物等の連絡を行う、会費として 1,000 円を徴収)

5-(4) 令和3年度の表彰について

【第1回役員会での決定事項】

- 1 令和3年度「功労賞」「感謝状」の表彰は行わない。 理由 全史料協高知大会がオンライン開催となるため、多くの会員の前 での表彰式が行えないこと
- 2 令和3年度「奨励賞」については、全会員にその趣旨と基準、様式等を周知した上で、受賞対象者の推薦を募る。
- 3 「功労賞」の選定基準については、引き続き役員会で議論を重ね明確化を 図る。

全国歷史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程

(平成6年4月1日) 改正 平成31年2月15日

(目的)

- 第1条 この規程は、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(以下「本会」という。)の事業及び歴史 資料の保存利用活動に尽力し、その功績顕著な会員等の表彰に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 本会が行う表彰の種類は、次のとおりとする。
 - (1) 功労賞
 - (2) 奨励賞
 - (3) 感謝状

(功労賞)

- 第3条 本会は、役員から推薦された機関会員(当該機関に所属する職員を含む。以下本条において同じ。)又は個人会員が次の各号の一に該当すると認めるときは、そのものに対して功労賞を授与する。
 - (1) 本会に特別の功労のあった機関会員又は個人会員
 - (2) 永年にわたり会務に従事した機関会員若しくは個人会員又は役員として功労のあった機関会員若しくは個人会員
 - (3) その他、特に功労することが適当である機関会員又は個人会員
- 2 すでに功労賞を授与された機関会員及び個人会員については、原則として除外する。

(奨励賞)

- 第4条 本会は、機関会員又は個人会員から推薦されたもの(会員以外のものを含む。)が、次の各号の一に該当すると認めるときは、そのものに対して奨励賞を授与する。
 - (1) 当該年度に刊行された『記録と史料』、機関会員の発行物その他の刊行物に掲載された論文等の執筆者で、奨励するに値する顕著な調査研究等をおこなったもの
 - (2) 公文書館等の事業等で、奨励するに値する顕著な運営をおこなった機関
 - (3) 歴史資料の保存活動で、奨励するに値する顕著な活動をおこなったもの
 - (4) その他、特に奨励することが適当であるもの

(感謝状)

第5条 本会は、本会の活動の振興発展に寄与し貢献したと認められたもの(会員以外のものを含む。) に対し、感謝状を贈呈することができる。

(選考)

第6条 被表彰者の選考及び決定は役員会で行う。

(方法)

第7条 表彰は賞状の授与をもって行う。役員会で必要と認めたときは、あわせて記念品を贈呈する ことができる。

(経費)

第8条 表彰に要する経費は、本会の会計をもってこれにあてる。

(委任)

第9条 この規程の施行について必要な事項は役員会で定める。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程施行内規

第3条第1項第2号の適用については、次の例による。

- (1)「永年」とは、会務に従事した期間又は役員の就任期間が通算して10年以上のものをいう。
- (2)「会務」とは、本会及び地域別協議会の会務をいう。
- (3)「役員」とは、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会則第7条第1項、第8条及び第11条第3項に定める者をいう。

第4条の適用については、次の例による。

- (1) 柱書きに定める「推薦」には、機関会員又は個人会員による自己推薦を含める。また、「当該年度」とは、選考および表彰を行う年度の前年度及び前々年度とする。
- (2) 第1号に定める「論文等」は、本会以外から表彰等を受けていないものに限る。
- (3) 第2号に定める「公文書館等の事業等」とは 評価選別、収集、保存、利用、普及等、公文書館等の運営上実際に行われたものをいい、「奨励に値する顕著な運営」とは、単に当該公文書館等の業績であるに留まらず、他の公文書館等の今後の運営や課題解決に示唆を与えるなど、広く貢献できるものをいう。
- (4) 第3号に定める、「歴史資料の保存活動」とは、第2号以外の活動で、災害に伴う被災資料の 救出、保全及び修復活動や、滅失危機にある地域資料の保存活動など、その活動を通じて社会 貢献したものをいい、「奨励に値する顕著な活動」とは、活動の事実のみでなく、その内容が、 今後の保存活動の範となるものをいう。

附則

- この内規は、平成31年4月1日から施行する。 附則
- この内規は、令和2年6月24日から施行する。